

# 図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成29年

12



月号

第441号 (第36巻第9号)

## 【目次】

P 1	年末年始休館のご案内	P 6	図書館職員コラム
P 2-3	行事のお知らせ	P 7	わたしのおすすめ本
P 4	展示のお知らせと 活動の報告	P 8-11	新着図書案内
P 5	アーニス分館だより	P 12	カレンダー・施設案内

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail [toshokan@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:toshokan@city.noboribetsu.lg.jp)

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

## 年末年始休館のお知らせ

登別市立図書館・アーニス分館・移動図書館車・鷺別配本所・登別配本所は

**2017年12月31日(日)～2018年1月5日(金)**

の期間は休館いたします。

また、年末年始の休館中、**返却用ブックポストは利用できません。**

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

\* 登別温泉配本所は年中無休のため上記の期間中も開館いたします。

ご予約の本のご用意などが遅れる場合があります。ご了承ください。

今年も登別市立図書館をご利用いただきありがとうございました。

来年もみなさまのご来館をお待ちしています。



お問い合わせ 登別市立図書館 ☎85-4324

登別市立図書館ふるさと再発見講座

郷土資料を電子データに

主 催: 登別市立図書館

講 師: 登別市立図書館 高森繁美さん  
応援ボランティア

日 時: 平成29年12月9日(土)

午後1時30分～同3時

会 場: 登別市立図書館3階会議室

入 場: 無料・申し込み不要

問合先: 電話 0143-85-4324 登別市立図書館

市民力活用 地域を学ぶ 情報発信

図書館の郷土に関する書籍を市民の力で電子データ化してネットで読みたい。50年前に発行された1、300頁にわたる「登別町史」の文章部分を本年3月から11月までにデジタル・データ化した図書館応援ボランティアの高森さんが、その作業手順や留意点、利用した無料変換サイト、苦労した部分や、どう活用すべきかなどをお話します。



PLUS 1

講座の最後に、仙台藩・片倉家主従が横別開拓のため室蘭上陸後、鷺別まで歩いた道程を高森さんが改めてたどった「歩いてみました。片倉主従が入植時に通ったモロラン道」も紹介します。

ビブリオバトルのタベ  
 第21回



本を通して人を知る・人を通して本を知る

本と人、人と人を繋ぐ『ビブリオバトル』

登別図書館のビブリオバトル第25弾です。

お茶を飲みながら、お気に入りの本の紹介を楽しみましょう！

日時 12月 7日(木) 午後5時～7時30分

場所 登別市立図書館 本館 3階会議室

対象 どなたでも参加できます。はじめにルールをご説明してから始めますので、ビブリオバトルを体験したい方もぜひご参加ください。観覧だけでも歓迎します。

申込 不要、直前会場にお越しください。参加費無料。

持物 お気に入りの本を各自1冊持参してください。

共催 いぶりびよりふり秋田晴子さん

主催・お問い合わせ 登別市立図書館 ☎85-4324

クリスマスエ作の  
 ごあんない

★ポツポツクリスマスカードをつくろう!★

にちじ: 12月9日(土) 10:30～12:00

ほしよ: としよかん3かい かいぎしつ

にんずう: 15めい(わんちよう～小学生)

ほしゅう: 11月21日(火)～12月6日(水)

電話または1かいカウンターでろうしこんでください。

※さくひんをもちかえるふくろを

もってきてください。



# 毎月恒例！映画会



**こども映画会**  
12月2日(土)午前10時30分～  
場所:図書館3階会議室  
入場無料 どなたでもご覧いただけます！

**チップとデール  
リスの山小屋合戦**  
(アニメ 56分)

**名画鑑賞会**  
12月2日(土)午後1時30分～  
場所:図書館3階会議室 入場無料 どなたでもご覧いただけます！

淀川長治名作映画ベスト&ベスト 69

『**十誠**』(洋画 134分)



旧約聖書映画化の元祖版。2部作からなり、第1部「古代編」は豪華なセットと大群衆を駆使する波瀾万丈のエンターテイメント。神はエジプトの専政に苦しむイスラエル民族に使者を遣わし、海を割ってシナイ山麓に導き十誠を授けたまう。第2部「現代編」では、十誠の教えを破った現代人に神罰がくだり、教会が崩壊する。

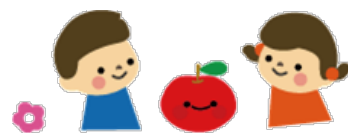
## おはなし会

### おはなしくれよん

わらべうたや絵本を楽しむ会などを行います。

日時 12月6日(水) 午前10時30分～

場所 3階 会議室



### おはなしほけっと

絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなどを行います。

日時 12月16日(土) 午後1時30分～

場所 1階 えほんのへや

\*日時や内容が変更・中止になる場合があります。  
ホームページや広報にてご確認ください。

## 展示のお知らせ

### 小・中学生の読書感想画展

展示期間：12月10日（日）～12月24日（日）

夏休み明けに市内の小学校から応募された読書感想画 全78点を展示します。  
力作ぞろいの作品を是非ご覧ください！

※なお、読書感想文・読書感想画の入選表彰式を12月16日（土）14時より  
登別市民会館（中ホール）にて行います。

## 事業報告

### 文化の日事業「紙人形劇ウレシパ劇場」上演

例年11月3日（金）は文化の日ということで、祝日は休館日となっている本館を特別に開館して講演会などの事業を行っています。

今年度の文化の日事業では、公益財団法人アイヌ文化振興・研究機構による「アイヌ文化アドバイザー派遣事業」により、市内在住のアイヌ文化アドバイザー 富樫 利一さんをお招きして「紙人形劇ウレシパ劇場」の上演を行いました。

会場となった図書館3階の会議室には、午後

1時30分の開演に合わせて多くのお客様が来場され、アイヌ民族の歴史や宇宙観、アイヌ語地名などの解説を織り交ぜた人形劇を興味深そうに観覧されていました。

また、上演前後には、同時開催していたロビー展示「富樫利一氏講演記念 アイヌ民話の世界」にもご興味を持って頂けたお客様も多く、「読書の秋」や「文化の日」にふさわしい一日となりました。

なお、今後もアイヌ文化に関する講演等を実施する予定ですので、今回は参加できなかった方や見逃してしまったという方も、是非ご参加ください。

※次回の開催日程等につきましては、市の広報や図書館通信でお知らせいたします。



# アーニス分館だより

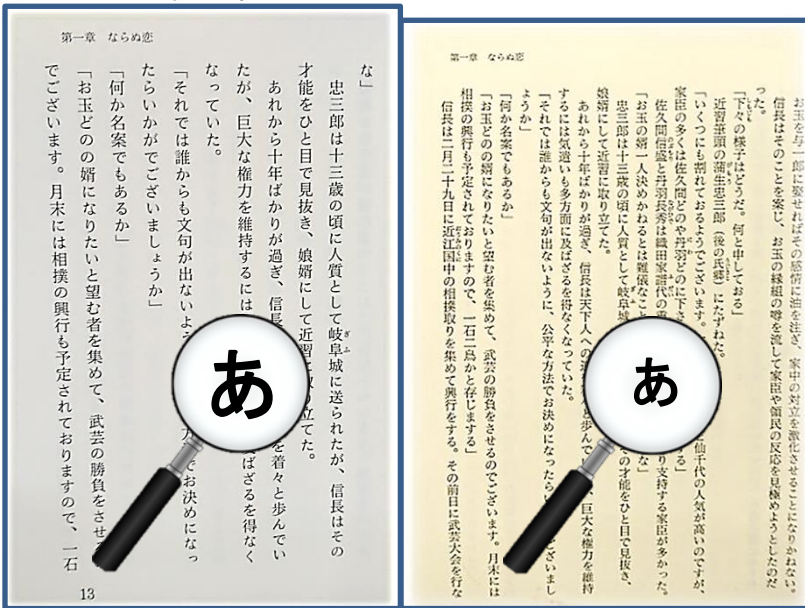


## アーニス分館では

- \* 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- \* 雑誌は最新号の一夜貸しも行っています。
- \* リサイクル本コーナーもあります。
- \* DVDを視聴できます。
- \* 貸出が済んだ本は、アーニス分館入口前の「お休み処」で読む事が出来ます。



### 大活字本



## 大活字本 あります！

- ◆ 左のように同じ本でも活字の大きさがずいぶん違います。
- ◆ アーニス分館では、小説・エッセイなど120冊ほどご用意しております。
- ◆ 『くらしっく時代小説』 『松本清張 自選短篇集』 などなど

文字を拡大すると大きさの違いが一目瞭然！

## 《新刊おすすめ本紹介》



### せつない動物図鑑

ブルック・パーカー/服部京子訳  
ダイヤモンド社

112の動物の“せつない真実”をかわいいイラストとともに紹介するちょっと笑える動物図鑑です。

意外と知らない動物たちのびっくりする事実  
がわかり、動物園や水族館に会いに行きたく  
なるかも！子供だけでなく大人も癒されます。  
動物たちのつぶやきも必見です！



## 「ささやかな扉をあけて」



その昔、私の育った町の図書館は、小学生にはずいぶんと厳しいところでした。

(以下、私の勝手にわずかな記憶に基づきます。)

夏休みに友達とバスに乗り 40 分ほどかけてやっとたどり着いた図書館は、薄暗くて、狭くて、静かで、書棚がぎっしり立ち並んでいました。すっかり大人の世界に緊張して、つい声が大きくなってしまって、カウンターのお姉さんに怒られました。児童室があったのかどうかも、そもそもの目的が何だったのかも思い出せませんが、冒険感はかなりのものでした。

まもなく図書館は場所を移し、建て替えられ、明るくキレイになりました。入ってすぐの児童スペースも一般読書スペースも広々。その後、実習でお世話になったときに、あちこち拝見させていただきましたが、新しさの中にも未整理の資料の中に地元ならではの古い奇怪な動物の標本などが混ざっていて、ちょっとワクワクしてしまいました。

小学校の図書室は校舎の端にあり、教室よりすこし広くて、たまに使わせてもらえるちょっと特別な場所のようでした。いつのまにか教室が足りなくなって音楽室が一緒になり、放課後には合唱部の練習場ともなっていました。

中学校の図書室は小さな小さなスペースでした。学年に 10 クラスもあった頃の学校の中では本当に知る人ぞ知る場所で、ほとんど開かずの部屋のようなようでしたが、訪れるたびにそこで勉強をしている生徒がいるのが驚きでした。一人静かにコツコツと勉強を続けていました。

高校の図書室には専任の方がおりました。掲示板や本の紹介など、いろいろと生徒のために工夫を凝らしていただいていたおりました。「図書館方面への進路はお勧めしない」と言っておりましたが、さてなぜだったのでしょうか？

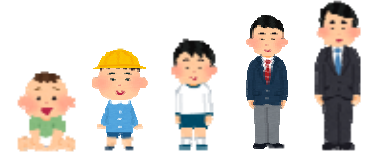
保育園では先生が話してくださる紙芝居が楽しみでした。「おおかみと七ひきの子やぎ」が好きで、紙芝居がどこにしまわれているのかが気になって、その扉が開かれるのが楽しみで楽しみでなりませんでした。

それぞれに、古くて、新しく、本や物語と一緒に、また違う出会いと楽しみがあったように思います。あれから随分と経ちましたが、ちいさな楽しみのお店は大切だなと今も思っています。



## わたしのおすすめ本

アーニス担当 S.M



『ラヴ・ユー・フォーエバー』

ロバート マンチ 著/ 梅田 俊作 絵/ 乃木 りか 訳/ 岩崎書店

「たまには、外で遊んだら!？」これは、数十年前の母の声……。父の仕事の関係で小学校を3度も変わった事も有り、こう見えても私は本が友達!の内向的な子供でした。

学生時代を部活命!で過ごし、そして大人になった私は、本を買っては夜通し読んで仕事へ(^^ゞそんな私も結婚すると家事と仕事の両立で本を読む時間が無くなりました。(何せちょこっと読みが出来ないもので)暫く本とはお別れし、再会したのは子供の為に買った絵本でした!

毎日寝る前に読み聞かせをし、子供のお気に入りの絵本も出来たので、何十冊もある絵本は読み聞かせの時期をとくに過ぎてても処分できず、2年前の引越の時にも連れて来てしまいました。その頃、知人に子供が生まれ本を譲る事を決意した私は、引越の荷解きもそこそこに絵本を一冊一冊読み返しました。甦る思い出……。

この絵本は、その中の一冊で子供にと言うより、私が欲しくて買った絵本です。当時読んだ時と十年以上も経ってから読み返した時とは、子育ての経験から感じ方が全然違いました。

「そうそう!親とはこう言うものなのよ!!」

心の声は反抗期のわが子に向け、大きく鳴り響くのでした。🔔

「親の無償の愛」、そして時を経て子供へと受け継がれる「親を想う優しい心」最後の方は少し悲しい気持ちになりますが、感動と共感が溢れる絵本です。

子育て中の方、子育てがひと段落した方にもおすすめしたい本です。

## 郷土資料紹介

『笑説 これが北海道弁だべさ』

西本 伸顕 著 / 北海道新聞社



数か月前、携帯電話からスマートフォンに替えた時の事です。慣れない操作の為、自分の意志とは関係なく掛かってしまった電話(T\_T)相手は、北海道出身の名古屋の友人でした。

「ごめんね!ボタンが押ささって、しかも切り方が分からない!!」そう言って慌てる私に、友人は笑いながら「思いがけず話しが出来て嬉しかった!」と喜んでくれました。

何とか電話が切れ、落ち着いてからお詫びのメールをすると、「久々に北海道の方言が聞けたと家族で笑いながら話してたの!」と返信が……。

私はそれまで「北海道は標準語に近いよね!」と信じて疑わなかったので、日常無意識に使っていた言葉がどれほど北海道弁だったのかと再認識させられました。

この本の中に北海道の方言ベスト30と有りますが、その中に見事に「~さる・~らさる」が有りました。その他に道産子の気質や北海道弁で読む古典名作選等があり、思わずプツと笑わずにはいられない、楽しくも納得できる一冊です。 **愛すべき北海道! 愛すべき北海道弁!**

# 新 着 図 書 案 内 平成29年12月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		金木犀と彼女の時間	彩坂 美月
1999年の王	加藤 元	● 砂上	桜木 紫乃
僕たちのアラル	乾 緑郎	● 孤軍(越境捜査 6)	笹本 稜平
花になるらん 明治おんな繁盛記	玉岡 かおる	ジゼル	秋吉 理香子
アゲハの公約	三萩 せんや	きっと嫌われてしまうのに	松久 淳
青い花 瀬戸内寂聴少女小説集	瀬戸内 寂聴	翻弄 盛親と秀忠	上田 秀人
猫たちの色メガネ	浅生 鴨	● 悪道 5 最後の密命	森村 誠一
悪い夏	染井 為人	● 失恋バスは謎だらけ	森沢 明夫
芸能人ショートショート・コレクション	田丸 雅智	千夜と一夜の物語	仁木 英之
見た目レシピいかがですか?	椰月 美智子	高架線	滝口 悠生
● 琥珀の夢 上・下 小説鳥井信治郎	伊集院 静	螺旋の手術室	知念 実希人
カシス川	荻野 アンナ	● 教場 0 刑事指導官・風間公親	長岡 弘樹
● 肉弾	河崎 秋子	古事記 日本の原風景を求めて	梅原 猛
ポーラスター 2 ゲバラ漂流	海堂 尊	消えない月	畑野 智美
愛のかたち	岸 恵子	星星の火 2	福田 和代
千の扉	柴崎 友香	● 守教 上・下	帚木 蓬生
踊る星座	青山 七恵	7人の名探偵	綾辻 行人
● 蘇える鬼平犯科帳	池波 正太郎	● ディレクターズ・カット	歌野 晶午
● 墨の香	梶 よう子	心中旅行	花村 萬月
● 恨み残さじ (空也十番勝負 青春編3)	佐伯 泰英	ヴィオレッタの尖骨	宮木 あや子
きっと誰かが祈ってる	山田 宗樹	紫式部の娘。賢子はとまらない!	篠 綾子
ブルーローズは眠らない	市川 憂人	星ちりばめたる旗	小手鞠 るい
茶笥の旗	藤原 緋沙子	十津川警部予士(ローカル)線に 殺意が走る	西村 京太郎
● 編集ども集まれ!	藤野 千夜	死神と道連れ	赤川 次郎
手がかりは「平林」	愛川 晶	ワルツを踊ろう	中山 七里
宗麟の海	安部 龍太郎	有楽斎の戦	天野 純希
● ホワイトラビット a night	伊坂 幸太郎	遺産ゲーム	藤原 一裕
地の星 なでし子物語	伊吹 有喜	フェルメールの街	櫻部 由美子
西郷の首	伊東 潤	● 裏切りのホワイトカード	石田 衣良
角の生えた帽子	宇佐美 まこと	ライオンは仔猫に夢中 (平塚おんな探偵の事件簿 3)	東川 篤哉
回遊人	吉村 萬壺	● マスカレード・ナイト	東野 圭吾
● 湖底の城 8巻	宮城谷 昌光	息子と狩猟に	服部 文祥
● 武士マチムラ	今野 敏	● 銀河鉄道の父	門井 慶喜



# 新 着 図 書 案 内 平成29年12月 No.2

書 名	著 者	書 名	著 者
<b>913 日本の小説</b>		<b>2 歴史・地理</b>	
● 草笛物語	葉室 麟	宿場町旅情写真紀行	清永 安雄 撮影
34歳無職父さんの東大受験日記	両角 長彦	日本百低山	日本山岳ガイド 協会編
主婦悦子さんの予期せぬ日々	久田 恵	国旗で読む世界史	吹浦 忠正
青空に飛ぶ	鴻上 尚史	● ストックホルムへの廻り道	大村 智
本日も教官なり	小野寺 史宜	地球の歩き方 2017～18 北京	「地球の歩き方」 編集室編集
カミカゼの邦	神野 オキナ	地球の歩き方 2017～18 ソウル	「地球の歩き方」 編集室編集
宝石鳥	鴫澤 亜妃子	地球の歩き方 2017～18 モルディブ	「地球の歩き方」 編集室編集
● 風神雷神 風の章・雷の章	柳 広司	北海道の山	伊藤 健次
でれすけ	簗輪 諒	四国八十八か所 お遍路の旅	昭文社
冤罪犯	翔田 寛	にっぽん全国たのしい船旅 2017～2018	イカロス出版
● 院長選挙	久坂部 羊	日本百名山トレッキングコースガイド 3刷 上・下巻	昭文社
● 機龍警察狼眼殺手	月村 了衛	● コックリさんの父 中岡俊哉のオカルト人生	岡本 和明
● 花咲舞が黙ってない	池井戸 潤	ハプスブルク帝国	岩崎 周一
希望が死んだ夜に	天祢 涼	西郷どんとよばれた男	原口 泉
● 淳子のてっぺん	唯川 恵	写真で見る日めぐり日米開戦・終戦	石山 永一郎
<b>9 その他の文学</b>		「元号」と戦後日本	鈴木 洋仁
● 夫の後始末	曾野 綾子	● 世界をまどわせた地図	エドワード・ブルック =ヒッチング
老いの僥倖	曾野 綾子	北海道道の駅徹底オールガイド	カルチャーランド
● 感傷的な午後の珈琲	小池 真理子	迷宮歴史倶楽部	モリナガ ヨウ
最後に手にしたいもの	吉田 修一	天皇の戦争宝庫	井上 亮
泣きたくなるような青空	吉田 修一	もういちど読む山川日本史史料	下山 忍
● ファインダーズ・キーパーズ 上・下	スティーヴン・ キング	むのたけじ笑う101歳	河邑 厚徳
湖の男	アーナルデュル・ インドリダソン	歴史の坂道 戦国・幕末余話	中村 彰彦
いとも優雅な意地悪の教本	橋本 治	<b>3 政治・経済・社会・教育</b>	
私たちの星で	梨木 香歩	● 中国「絶望」家族	メイ・フォン
● 日本文学全集 4 源氏物語 上	池澤 夏樹	無銭経済宣言	マーク・ボイル
シルバー川柳 青い山脈編	みやぎシルバー ネット編	産まないことは「逃げ」ですか？	吉田 潮
似合わない服	山口 ミルコ	文学部	戸田 恭子
池澤夏樹、文学全集を編む	河出書房新社 編集部編	経済成長という呪い	ダニエル・ コーエン
中原中也 沈黙の音楽	佐々木 幹郎	大惨事と情報隠蔽	ドミトリ・ チェルノフ
● 自由を盗んだ少年	金 革	入門貧困論	金子 充
消滅遊戯	ロジャー・ ホプズ	浪費図鑑	劇団雌猫

# 新 着 図 書 案 内 平成29年12月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
荒俣宏妖怪探偵団ニッポン見聞録 東北編	荒俣 宏	<b>4 自然科学・医学</b>	
わかりやすい家族への信託	酒井 俊行	● 動物になって生きてみた	チャールズ・フォスター
歌を掛け合う人々 東アジアの歌文化	真下 厚	物理2600年の歴史を変えた51のスケッチ	ドン・S. レモンズ
時短術大全	生産性改善 会議編	● 動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか	フランス・ドゥ・ヴァール
武器としての経済学	大前 研一	デザイナー・ベビー	ポール・ノフラー
競争社会の歩き方	大竹 文雄	食事のせいで、死なないために 病気別編・食材別編	マイケル・グレガー
● ヨコハマメリー	中村 高寛	セックス・イン・ザ・シー	マラー・J. ハート
6時だよ全員退社！	田中 健彦	驚異の未来生物	マルク・ブレー
金利「超」入門	美和 卓	大丈夫!何とかかなります過活動膀胱	横山 修 監修
「サードエイジ」をどう生きるか	片桐 恵子	夫婦の危機は発達障害が原因 かもしれない	宮尾 益知
拡大自殺	片田 珠美	佐藤文隆先生の量子論	佐藤 文隆
ジハード主義	保坂 修司	時間とはなんだろう	松浦 壮
● 中国では書けない中国の話	余 華	温泉手帳 増補改訂版	松田 忠徳
● 「招待所」という名の収容所	ロバート・ S. ポイントン	海水の疑問50	上ノ山 周 編
外国人労働者をどう受け入れるか	NHK取材班	昆虫の交尾は、味わい深い…。	上村 佳孝
「いじめ」や「差別」をなくすためにできること	香山 リカ	スーパードクターと学ぶ一生 よく見える目になるう	深作 秀春
リベラルという病	山口 真由	医療危機 高齢社会とイノベーション	真野 俊樹
習近平と永楽帝	山本 秀也	100人の数学者	数学セミナー 編集部編
くらしの昭和史	小泉 和子	定年後が180度変わる大人の運動	中野 ジェームズ修一
震災ジャンキー	小林 みちたか	生命(いのち)を支えるATPエネルギー	二井 将光
幻の黒船カレーを追え	水野 仁輔	● アリ！なんであんなはそうなのか	尾崎 まみこ
育てにくい子は、挑発して伸ばす	中邑 賢龍	面白くて仕事に役立つ数学	柳谷 晃
● ブラック部活動	内田 良	マンボウのひみつ	澤井 悦郎
ゆとり世代はなぜ転職をくり返すのか？	福島 創太	激動の日本列島誕生の物語	NHKスペシャル「列島誕生 ジオ・ジャパン」制作班監修
図解最新税金のしくみと手続きがわかる事典	北川 ワタル 監修	<b>5 技術・工業・家事</b>	
命を守る水害読本	命を守る水害読 本編集委員会編	柴田明美小さなかわいいキルト	柴田 明美
大学大倒産時代	木村 誠	香港行ったらこれ食べよう！	清水 真理子
<b>4 自然科学・医学</b>		● やる気の続く台所習慣40	高木 忍み
● これがすべてを変える 上・下 資本主義vs. 気候変動	ナオミ・クライン	ま・ごはん 0歳からの愛情レシピ	片岡 護
和ハーブ図鑑	古谷 暢基	羊毛フェルトでつくるほっこり動物と おうちカフェ	さくだ ゆうこ
● はちみつ日和	前田 京子	ちよつとよそ行き	中野 ユカリ
出生前診断、受けますか？	NHKスペシャル 取材班	今さら聞けない手芸の基礎が よくわかる！ファスナーつけ	中嶋 有希
30年にわたる観察で明らかにされた オオカミたちの本当の生活	ギュンター・ ブロッホ	おやこの薬膳ごはん	山田 奈美

# 新 着 図 書 案 内 平成29年12月 No.4

書 名	著 者	書 名	著 者
<b>5 技術・工業・家事</b>		<b>7 芸術・スポーツ</b>	
日本茶のさわやかスイーツ	本間 節子	世界でいちばん美しい街、愛らしい村	MdN編集部編
a Table 雅姫のテーブル12カ月	雅姫	● ホワイトハウスのピアニスト	ナイジェル・クリフ
そのまま食べる作りおき	ベターホーム協会編集	● 天才棋士降臨・藤井聡太	書籍編集部編
忙しい人のための「ついでレシピ」	笠原 将弘	時代とフザけた男	小松 政夫
バターを使わない！パウンド型ひとつで50のケーキ	吉川 文子	● 高倉健	森 功
● がんばりすぎないごはん	近藤 幸子	気にしない。	森本 稀哲
お屋敷拝見 新装版	内田 青蔵	● 翔ぶ夢、生きる力	石坂 浩二
技術屋の王国	片山 修	知床半島	石川 直樹
かぎ針で編むあったか華やかざぶとん大全集	アップルミンツ	色エンピツで描く季節絵1300	石倉 ヒロユキ
暮らしに寄り添う手作りのかっぽう着	ブティック社	スカートはかなきゃダメですか？	名取 寛人
日めくりマタニティブック	マギー・プロット 監修	エンジョイデイズニーマグリーティングカード	鈴木 孝美
バッグの型紙の本	越膳 夕香	はじめてのスタンドグラス	齋藤 万友美 監修
● 月たった2万円のふたりごはん	奥田 けい	和のカラフル切り絵	ゆまあひmaki
岡本啓子のあみもの棒針あみ	岡本 啓子	曲線が美しい立体折り紙	三谷 純
● わたしのいつものごはん	栗原 はるみ	日本昭和ウルトラマンガッズ大全	西村 祐次 監修
● おつまみ手帖211品	主婦の友社編	鈴木春信決定版	藤澤 紫 監修
パンソロジー	池田 浩明	<b>0・1・8 総記・哲学・言語</b>	
きちんと切ると料理はもっとおいしい	中村 奈津子	どんな絵本を読んできた？	「この絵本が好き！」編集部編
簡単！お寺ご飯	飯沼 康祐	夢と幽霊の書	アンドルー・ラング
透明和菓子の作り方	安田 由佳子	禁書	マリオ・インフェリーゼ
今日、見に行くことができる国宝・重要文化財レトロ建築	伊藤 隆之 著・写真	世界のしくみまるわかり図鑑	リチャード・プラット
米粉のパンとおやつと料理 改訂版	舘野 鏡子	敬語は変わる	井上 史雄
Berry BOOK	原 亜樹子	● なくなりそうな世界のことば	吉岡 乾
<b>6 産業・商業</b>		風の電話	佐々木 格
世界に広がる日本の職人	青山 玲二郎	図書の修理とらの巻	書物の歴史と保存修復に関する研究会編
消費大陸アジア	川端 基夫	● 神童は大人になってどうなったのか	小林 哲夫
● トゲもふ！はりねずみのあずき	角田 修一 写真・文	詳説世界の漢字音	大野 敏明
トウガラシの歴史	ヘザー・アーク・アンダーソン	● 死ぬほど読書	丹羽 宇一郎
ニッポンの地方野菜	内田 悟	日本文化をよむ 5つのキーワード	藤田 正勝
日本人とくじら	小松 正之	校閲記者の目	毎日新聞 校閲グループ
世界で一番美しい馬の図鑑	タムシン・ピッケラル	世界最古の物語	Th. H. ガスター
● ザ・カリスマドッグトレーナー	シーザー・ミラン	ここが知りたい！デジタル遺品	古田 雄介

# 平成29年12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 映画会
3	4 本館休館	5	6 おはなし くれよん	7 分館休館 ビブリオバトル	8	9 郷土資料講演会 クリスマス 工作教室
10	11 本館休館	12	13 ブックスタート	14 分館休館	15	16 おはなし ぽけっと
17	18 本館休館	19	20	21 分館休館 ライブラリー スタート	22	23 天皇誕生日 本館休館
24	25 本館休館	26	27	28 分館休館	29 図書整理日 本館休館 分館休館	30 年内最終 開館日
31 年末年始休館 本館休館 分館休館	1/1 年末年始休館 本館休館 分館休館	1/2 年末年始休館 本館休館 分館休館	1/3 年末年始休館 本館休館 分館休館	1/4 年末年始休館 本館休館 分館休館	1/5 年末年始休館 本館休館 分館休館	1/6 通常開館

## 図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷲別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷲別町3-3-4	登別本町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日 最終金曜・年末年始	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00